

II 総務委員会の事業報告

1. 概要

総務委員会は、主として工業会運営上の特命事項の解決にあたっている。平成 21 年度の総務委員会は 4 回開催された。

国際交流事業、広報事業においては事業計画どおり実施した。新たに、二つのワーキンググループを発足しそれぞれの事業に取り組んだ。平成 20 年 12 月 1 日に施行された新公益法人制度へのばね工業会の対応についてワーキンググループを発足し、検討・準備を始めた。ばねの歴史ワーキンググループでは編纂作業と発行予算確保に向けて活動を開始した。

2. 総務委員会の開催

名称	日時・場所	議事
正副委員長 会議	平成 21 年 7 月 10 日 安保ホール	1. 改正公益法人制度対応ワーキンググループ発足 2. 国際交流事業について SMI 秋季ミーティング他
総務委員会	第 1 回 平成 21 年 4 月 16 日 (書面)	1. 会員の異動について 2. 平成 20 年度事業報告および収支決算について 3. 平成 21 年度事業計画および収支予算について 4. 平成 20 年度総務委員会事業報告について 5. 平成 21 年度総務委員会事業計画(案)について 6. 会長表彰推薦について 7. 規定改正 優良ばね製造技能者表彰規程 8. 第 40 回定時総会について
	第 2 回 平成 21 年 9 月 10 日 大阪弥生会館	1. 報告事項 ① 会員の異動について ② 委員の交替について 他 2. 審議事項 ① 平成 21 年度国際交流事業について ② 平成 22 年度第 41 回定時総会開催日程ほかについて ③ 嘱託就業規則の改正について ④ 優良従業員表彰状の変更について ⑤ 消費者問題担当委員会の特定について ⑥ 改正公益法人制度対応ワーキンググループについて ⑦ ばねの歴史ワーキンググループ報告
	第 3 回 平成 21 年 12 月 10 日 ルブラ玉山	1. 報告事項 ① 会員の異動等 ② 国際交流報告 SMI および中国出張報告 ③ その他 ばね生産統計ほか 2. 審議事項

		<ul style="list-style-type: none"> ① 機関誌ばね平成22年掲載予定 ② 改正公益法人制度対応ワーキンググループ報告 ③ ばねの歴史ワーキンググループ報告 ④ 優良従業員表彰状の変更 ⑤ 平成22年度第41回定時総会開催日程ほか ⑥ 平成22年度国際交流事業について ⑦ 規約改正 <p style="text-align: center;">総務委員会運営規定（消費者問題担当委員会）・委員会規定・技能検定推進会議運営規程</p>
	<p style="text-align: center;">第4回 平成22年3月11日 東京ステーションコンファレンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1. 報告事項 ばね生産統計ほか 2. 審議事項 <ul style="list-style-type: none"> ① 会長表彰候補者について ② 平成21年度収支決算見通し ③ 平成22年度国際交流事業について ④ 平成22年度会費収入見込み及び支部交付金について ⑤ 平成22年度定時総会について ⑥ 平成21年活動実績、平成22年活動計画案について ⑦ 改正公益法人制度対応ワーキンググループ報告 ⑧ ばねの歴史ワーキンググループ報告 ⑨ 規程改正案について <p style="text-align: center;">委員会規程、技能検定推進会議運営規程、職員就業規程、嘱託就業規程、給与規程</p>

3. 活動の詳細

3. 1 国際交流事業

① 米国ばね工業会（SMI）秋季ビジネスミーティングが平成21年9月29日（火）にラスベガスで開催され、日本ばね工業会からは渡辺総務委員長、相羽標準化会議議長、井上専務理事の3名が出席し、欧州ばね工業会連合（ESF）からも会長以下数名が参加した。日本からは日本のばね産業の現況報告を行い、ISO/TC227ばねの活動状況報告とともに米国の参加を勧誘した。また、今後も日・米・欧の三極の交流を行うことで合意した。

② 日中技術交流会

中国ばね標準化技術委員会は2009年中国ばね産業新製品・新技術展示会開催に合わせ10周年記念大会を平成21年10月20日（火）浙江省・海寧市海州大飯店で開催するにあたり日本ばね工業会へ技術交流団の派遣要請があり、日本ばね学会へ1名派遣を依頼し、技術委員会畑山副委員長、標準化会議阿久津標準化推進委員長、井上専務理事とともに合計

4名が参加した。

日本からは日本のばね産業の現況報告および、技術報告「ショットピーニング後に人口ピットを導入したばね鋼の疲労特性」「J I S B 2 7 0 4の主な改正点」を講演した。

3. 2 ばねの歴史編纂ワーキンググループ

新たに蒲技術委員長をリーダーに選任し活動を再開した。再開に当り編集、執筆方針を見直し専門執筆者を起用するとともに内容の充実を図ることとし、それに見合う予算額の承認を得た。発刊時期は平成23年度中とする。

3. 3 改正公益法人制度対応ワーキンググループ

伊藤総務副委員長をリーダーに三支部の総務委員会から各1名と井上専務理事の合計4名の委員で発足し、平成25年11月30日の期限までに余裕をもって移行できるよう検討を開始した。

3. 4 調査・広報事業

- ① 機関誌ばねは隔月で6回発行した。ホームページの充実を図るため一昨年に導入した管理ツールを活用し情報公開の速度を速めた。政府広報等は会員へのPRは機関誌ばね及びホームページを通じてその都度実施した。
- ② 会員生産月報、経済産業省金属製品統計および財務省貿易統計のばね関連統計を収集し機関誌ばね並びにホームページに掲載し、広く関係者の閲覧に供した。